

令和 2 年度

「第 2 期湯前町総合戦略」検証結果報告書

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標 1 力強い産業としごと創生

・数値目標

数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
認定農業者数	50人	57人					50人	114%
事業所への就業者数	976人	—					1,000人	—
取組の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者について、後継者への支援等により新規就農者や親元就農で自立経営を目指す者が増えてきており、専業で農業に取り組む農業者が増えている。 ・就業を考えている町民向けに無料就職相談会の実施や窓口に求人情報誌を設置するなど、就職を希望する町民に対しての支援を行った。一方で、事業所に対する就業の支援として求人誌掲載の募集を行ったが本町事業所からの参加はなく、今後は一層の周知が必要と感じた。就業者数については令和3年度実施する経済センサスにて反映する。 							
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者数はすでに目標値を超えているが、今後は高齢化により更新をしない人が増えてくることが予想されるため、継続して新規就農者の確保等の事業を実施する。 ・町内商工事業所や就業者に対して、町内の雇用創出を図るための支援の周知を徹底するとともに、令和3年度から実施する事業承継サポート事業などを活用してもらいながら、商工事業者が雇用を生み出し町民が安心して働けるような雇用環境の整備を図る。 							

・重要業績評価指数

施策1 地域産業力の向上のための支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①認定農業者数	50人	57人					50人	114%
取組の評価	国・県・町の補助事業を周知により認定農業者や後継者等へ農業経営を継続してもらうとともに、労働力やコストの負担軽減、農地の集積により専業で農業に取り組む者が増加。							
今後の方針	認定農業者数はすでに目標値を超えているが、今後は高齢化により更新をしない人が増えてくることが予想されるため、国・県・町の補助事業をさらに周知し、活用してもらうことで認定農業者の継続や新規認定を促す。							
②林業素材生産量	98,000 m ³	91,650 m ³					100,000 m ³	91.6%
取組の評価	7月豪雨災害により林道や作業道が被災し、搬出できる限られた区域での素材生産となり、前年度と比べ取扱量が減少したものの、森林組合を始め林業事業者の努力により想定していた素材生産量の大幅減は阻止。							
今後の方針	7月豪雨による林道・作業道復旧工事について、令和3年度から本格化すると見込まれ、令和2年度同様に素材生産においては厳しい状況が続くが、復旧工事の進捗に合わせ素材生産量も回復すると思われる。町有林の立木処分や林道・作業道の復旧工事により、林業事業者の事業の確保を支援する。							
③先端設備導入計画認定件数	0件	1件					5件 (5年累計)	20.0%
取組の評価	湯前町導入促進基本計画期間（平成30年9月20日から令和3年9月19日）において初めてとなる機械装置導入が1件の認定となり、順調に推移している。							
今後の方針	認定の対象となる中小企業の誘致も視野に入れながら、町内事業者に向けた周知を町ホームページや旬報で行い、申請の支援を行う。							

④小規模事業者持続化補助金採択件数	1件	1件					23件 (5年累計)	4.3%
取組の評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、小規模事業者持続化補助金に「コロナ対応枠」ができ、本町商工業者においても多数の申請を行ったが、申請件数が多く採択率が低いため確定した件数は1件となった。							
今後の方針	令和2年度に引き続き、採択された商工業者に対し補助金を交付し、制度の周知漏れがないように商工会との連携を強化する。							
⑤新規就農者数	0人	2人					5人 (5年累計)	40.0%
取組の評価	国の農業次世代人材投資事業や町の後継者等支援事業により親元就農や新規就農者に対する支援を行うことで、就農に対する意欲を向上させ、新規就農者数が増加。							
今後の方針	引き続き新規就農に対する支援を行うとともに、親元就農ではなく新たに農業経営を開始する者に対し、経営に対するサポートなどの支援を行う。							
⑥商工業者承継者数	0人	0人					8人 (5年累計)	0.0%
取組の評価	事業者向けアンケートの実施を行いニーズの把握を行うとともに商工会と打合せを行いながら事業承継を考えている事業者のための後押しとなるような新事業について具体的に検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響で事業構築ができなかったため、この事業による、承継者数は0人となった。							
今後の方針	令和2年度において検討した「事業承継サポート事業」を令和3年度から実施する。本事業の周知等を行い、事業承継を考えている事業者を後押しするとともに、町内の雇用創出を図る。							

施策2 安定した雇用創出のための支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①創業者数 (農林商工業)	1人	0人					5人 (5年累計)	0%
取組の評価	創業支援の相談窓口を設置し、パンフレットの掲示等を行ったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により新規創業者の相談件数は0件だった。							
今後の方針	今後、アフターコロナに向けた創業支援の相談窓口等を充実させるために検討する。							
②若者雇用促進事業の 交付件数	—	—					20件 (5年累計)	—
取組の評価	事業内容検討中のため、実績なし。							
今後の方針	今後、事業内容について具体的に検討を行う。							

・基本目標1に対する意見

策定審議会意見
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナや災害の影響はどこでも一緒であり、施策を講じて2060年(令和42年)の予測値より400人増やし、1,159人を維持するためには何をしたらいいのかを決めなければならない。 ・人口、産業を維持するにあたって、頑張っているのはわかるが、力強いという言葉に違和感があり起爆剤がほしい。 ・商業についてはコロナよりも少子化が絶望的で問題である。現在小学生が1学年25~30人では将来的に商売をやっていけない状態。自分の子供に跡を継がせるか目の前の問題であり、人が減っていくとかなり状態が厳しくなることを認識しなければならない。 ・認定農業者について、更新されない方もいるだろうが、新規のか方もいるはず。現状維持の目標値でいいのか。
議会意見
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策に特化した総合戦略において、移住・定住につながる若者の仕事づくりが最重要課題であるため、引き続きを入れて取り組まれない。 ・現在のKPI(重要業績評価指標)が、行政の業績評価として把握しづらいものが含まれている。今後は指標の見直し、検討を十分に行われたい。※商工業者承継数⇒事業承継サポートの申請者数など

- ・目標値を達成しているKPIは、適宜上方修正を行い進捗管理されたい。※認定農業者数
- ・小規模事業者持続化補助金の採択件数について、採択率が低いため採択が1件であったと取組の評価がなされていたが、本町からの申請が何件であったかの記載がなく、行政として積極的に取り組んだかどうか議会として評価しづらい。申請件数も記載されたい。
- ・創業者数の取組の評価で、新型コロナウイルス感染症対策の影響で相談件数が0件であったと記載されているが、町や商工会のホームページ上に「湯前町しごと創生応援事業」の情報がないため、今後は積極的な情報発信に努められたい。

基本目標 2 誇れる・選ばれるまち創生

・数値目標

数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
社会増減数	-11人	14人					31人	45.1%
湯前町に住み続けたい割合（アンケート結果）	55.5%	56.0%					60.0%	93.3%
取組の評価	※令和2年7月実施「湯前町まちづくりアンケート」調査結果による ・前回調査より増加したが、無回答の割合が36.4%となっていたため潜在的な部分が図れず、小中学生を対象にしたアンケート結果では「できればずっと住みたい」+「一度外に出ても、将来戻ってきたい」が42%と低かった。 また、アンケートの結果から住環境や働く場の課題も見えてきた。							
今後の方針	・移住定住施策の推進で、外部からの転入を促しながら、住んでいる人の住民満足度向上のため、福祉、教育、産業、住生活環境など横断的な施策の展開や情報発信を積極的に行う。							

・重要業績評価指標

施策1 魅力づくりと発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①観光入込客数	206,880人	90,840人					220,000人	41.2%
取組の評価	<p>新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により国内のみならずインバウンドにも大きく影響、さらに7月豪雨で「くま川鉄道」「JR肥薩線」も甚大な被害を受け、鉄道を利用する観光客の交通手段が絶たれている状況。町最大のイベント「漫画フェスタ」も感染拡大防止のため中止となり入込客数も大きく減少した。 (実績値は県観光統計調査方法の変更に基づいた数)</p>							
今後の方針	<p>くま川鉄道の部分運行開始に向けたイベントに合わせまんがを活かした取組みを行いながら、今後もまんがの町をPRしていく。新しい生活様式やワーケーション事業に取り組みながら、新しい観光の形を形成していく。</p>							
②宿泊者数	7,849人	3,813人					8,567人	44.5%
取組の評価	<p>新型コロナウイルスの影響により年度当初から緊急事態宣言が発出され、「ゆのまえ温泉湯楽里」も休館や時短営業を余儀なくされた。後にGoTo事業など国の旅行喚起事業も実施されたがコロナが収束することではなく、かつてない大きな落ち込みとなった。</p>							
今後の方針	<p>コロナの収束が見えず依然として厳しい状態にある。宿泊助成事業の実施やキャンプ場などへ誘客事業の実施により施設の経営持続化を支援していく。</p>							
③関係人口数	1,740人	2,370人					2,201人 5,076人 R3年度修正	107.6%
取組の評価	<p>各種事業は中止あるいは縮小となり参加者は減少したが、ふるさと納税寄付件数が2,276件と増加した。要因としては、ふるさと納税係を新設し、職員を増員したことで、返礼品数の増加やポータルサイトの追加ができ、間口を広げることができたことと、豪雨災害に伴う支援寄付が増えたことによるもの。</p>							

今後の方針	コロナ禍でも本町と関係をもつていただける様に情報発信やリモートでの交流を検討していく。また、ふるさと納税に関しては、さらに返礼品数の増加、ポータルサイトの追加を行うことで、寄付件数の増加につなげ、情報発信も積極的に行う。							
④ホームページ閲覧者数	196,800 ページビュー	1,119,501 ページビュー					290,000 ページビュー 1,200,000 ページビュー R3 年度修正	386.0%
取組の評価	令和2年4月1日からホームページのリニューアルを行ったことと、7月豪雨等の防災情報等の掲載により閲覧者数が伸びたと考えられる。							
今後の方針	防災情報をはじめとした、住民の生活につながる情報を引き続き掲載していく。							
⑤SNS登録者数	—	223 ユーザー					1,300 ユーザー	17.1%
取組の評価	LINEによる情報発信を行っているが、個人情報漏洩などセキュリティ問題が発生したことで、下半期に登録者が伸び悩んだ。							
今後の方針	他のツールの導入を検討し、住民への情報発信を強化していく。							
⑥若者会議による施策や事業の提案数	—	—					5件 (5年累計)	—
取組の評価	新型コロナウイルスの影響により未実施。令和3年度から着手する。							
今後の方針	コロナウイルス感染対策を実施しながら事業を実施し、将来の町を担う世代からの意見、アイデアを積極的にまちづくりに反映する。							

⑦まんの町の町としての充実度	—	—					80%	—
取組の評価	新型コロナウイルス感染拡大のため、イベント等もなくアンケートを実施することができなかった。							
今後の方針	アンケート等によるニーズ把握及び各課横断的な職員プロジェクトチームによる新しい生活様式を意識したイベントの企画や関連商品開発などを通して、まんのまちづくりを推進していく。							
⑧入館者数 (まんが美術館・図書館)	12,169人	2,014人					13,210人	15.2%
取組の評価	<p>【まんが図書館】新型コロナウイルスの影響により年度当初から緊急事態宣言が発出されたことにより、休館や来客者の制限を余儀なくされた。その一方で、「青空まんが図書館」など新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みながら集客のための取り組みを行った。</p> <p>【まんが美術館】入館者：586人※前年比：21%（R1：2,796人）、H4（開館）～R1までの平均比：10%（5,776人/年）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大や令和2年7月豪雨、アーカイブ事業による休館などが重なり開館日数は約180日と、平成30年度比57%（H30は320日開館）に留まった。当館は管外からの集客も多いため、漫画フェスタ中止やコロナ禍による移動控えの影響も多くみられた。</p>							
今後の方針	<p>【まんが図書館】新型コロナウイルス感染症の対策及び新しい生活様式を意識しながら集客のための取り組みを引き続き行っていく。</p> <p>【まんが美術館】令和3年度は、令和2年度実施できなかった展示を計画。今後、アーカイブ事業を継続してすすめるとともにデジタル化などアフターコロナの中での展示機会増進を図る。また、B&G事業による偉人マンガ制作によって那須良輔氏の功績を地域に再認知いただき、町内や近隣町村からの集客増を図る。</p>							

施策2 移住・定住の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①転入者数 (住民基本台帳)	111人	108人					148人	72.9%
取組の評価	<p>豪雨災害後より空き家や転入についての問い合わせが増加し、転入にいたるケースも例年に比べると多かった。しかし、空き家バンクにそのまま居住できる物件が少なく、要望に対応できないことも多かった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で都市部での移住、定住PR活動ができなかった。</p>							
今後の方針	<p>各関係者に協力をいただき空き家情報を整理して、空き家バンクへの登録を促進していく。また併せて空き家リフォーム補助等の支援策の情報発信を積極的に行う。 PR活動についても、オンラインでの活動を実践していく。</p>							

施策3 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①防災リーダー育成 (防災士の人数)	4人	3人					14人	21.4%
取組の評価	<p>1名が転出したため、現在3名となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、積極的な受講案内ができなかったため新規取得者は0人となっている。</p>							
今後の方針	<p>自主防災組織や消防団幹部など、地域住民の防災の中心となる方への資格取得の支援を検討する。</p>							
②健康寿命	男性 67.5歳	男性 67.0歳					男性 70.4歳	95.1%
	女性 74.0歳	女性 72.4歳					女性 75.0歳	96.5%
取組の評価	<p>乳幼児から成人、高齢者において健康診査をはじめ各種保健事業、介護予防事業に取り組んでいく。R2年度においては男女ともに健康寿命の延伸にはつながっておらず、健康に不安のある方の抽出とさらに細やかな対応が必要。</p>							
今後の方針	<p>若年層が健診を受け、必要時に保健指導を受けられる体制をつくり、青年期・壮年期を対象に健康教室を実施していく。また、高齢者においては保健事業と介護予防の一体的実施の体制づくりを進めていく。</p>							

③地域コミュニティ活動参加者数	6,377人	2,420人					8,800人	27.5%
取組の評価	新型コロナウイルス感染拡大と令和2年7月豪雨により、施設の臨時休館や閉館、教室や大会の中止など拠点としての活動を実施できていない。大会利用者数は12%、グループ利用は約10%に落ち込み、一般利用も42%に留まるなど地域コミュニティとしての機能を十分に果たすことができなかった。							
今後の方針	スポーツ推進委員や総合型地域SC、体育協会、民間組織などの団体が連携をとることで、様々な世代やニーズに応えられる施設運営を行う。また、当町ではスポーツ実施率の低下が進行しているため、特に働き世代などをターゲットとした教室展開を計画する。							
④町営住宅建設戸数	166戸 (単身向け6戸)	166戸 (単身向け6戸)					172戸 (単身向け6戸)	96.5%
取組の評価	令和2年度は解体、建設の計画はなく、実績でも増減はなかった。							
今後の方針	R3年度において設計委託を行い、R4年度からの新規住宅建設に向けて準備を進める。							
⑤個人住宅建設戸数	6戸	5戸					10戸	50.0%
取組の評価	新型コロナウイルスや豪雨災害の影響による経済活動の停滞や先行きの不安感により、建設戸数が減少したと考えられる。また、球磨スギ・ヒノキ需要促進事業の新築住宅申請件数も0件となっている。							
今後の方針	補助事業等の周知を図りながら、分譲地の検討も進めていく。							

・基本目標 2 に対する意見

策定審議会意見

- ・どのような要因で、社会増減数が伸びたのか分析するべき。
- ・事業を拡大したい事業所には支援をしてもらいたい。コロナ関係は国の支援があるが、頑張ったところには支援がない。子ども達に商工業を継承することが、経済的にも夢を持たせられるようにしたい。
- ・コロナを抑え込まないと漫画フェスタの開催は難しいのでは。
- ・空き家について、近隣に迷惑がかからないように行政で対応できないか。
- ・自主防災組織の訓練を町内全域ではなく、5～6 つ程度のグループにわけてやってはどうか。
- ・防災士の資格取得に助成はしないのか。
- ・避難場所が老朽化等で不適なところがあり、ふさわしい場所を指定してほしい。
- ・文化財を観光資源として磨き上げ、観光客の誘客につなげてもらいたい。

議会意見

- ・空き家バンクへの登録を重点施策として取り組むために、空き家所有者への活用意向調査などにより、空き家の活用を促すための意識啓発を図るとともに、移住希望者に向けての情報発信を積極的に行い、移住者の増加を図られたい。
- ・「一般社団法人吉球磨観光地域づくり協議会」と町内の関係機関との連携「一般社団法人吉球磨観光地域づくり協議会」と町内の関係機関との連携を推進されたい。
- ・「関係人口」の拡大に向け、ふるさと会の会員増加や大学との連携事業の取組「関係人口」の拡大に向け、ふるさと会の会員増加や大学との連携事業の取組を推進するとともに、「SNS登録者数」、「SNS登録者数」の増加に向けて具体的な方針を示し、目標達成具体的な方針を示し、目標達成に向けて積極的に取り組まれたい。
- ・「まんがの町としての充実度」の「まんがの町としての充実度」の進捗確認を行うとともに、令和3年度中にまんが行うとともに、令和3年度中にまんが美術館等活用計画を更新し、計画的に取り組まれたい。

基本目標 3 未来を担う若い世代の希望創生

・数値目標

数値目標	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
年少人口率	11.4%	10.4% (住基台帳数値の ため参考)					11.5%	90.4% (住基台帳数値の ため参考)
取組の評価	<p>・基準値、目標値は国勢調査の数値となっているため令和 2 年度実績は参考値となる。住民基本台帳で 1 年前と比較すると人数は 3 人減少しているが、年少人口率は 10.4%と横ばいになっている。全体人口の減少が続く中、年少人口の減少は抑えることができた。</p>							
今後の方針	<p>・年少人口率を維持するために、妊娠からの切れ目ない支援を充実させ、子育て世代の移住定住を推進するために住環境の整備や、町独自の子育て施策の情報発信を積極的に行う。</p>							

・重要業績評価指標

施策 1 子どもを安心して生み育てられる環境の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
① 出会いの場への参加者数	2 人	—					50 名 (5 年累計)	—
取組の評価	<p>新型コロナウイルスの影響でイベントが開催されなかったため、実績がなかった。</p>							
今後の方針	<p>アフターコロナに向けて新しい生活様式に対応したイベントや、リモートでのイベント開催を含め検討していく。</p>							

②子育て世帯数	250 世帯	214 世帯					250 世帯	85.6%
取組の評価	子ども子育て支援事業計画に基づく支援をはじめ、小学校臨時休業中の学童クラブ臨時開所や保護者負担減免措置等子育て世帯の生活支援に寄与したが、子育て世帯数が減少した。世帯数の減少理由としては、転出や子育て世帯でなくなったことによるもので、令和2年度出生数14人うち、新規子育て世帯（第1子）は4件であった。							
今後の方針	子ども子育て支援事業計画等に基づく各主要事業の実施及び現状ニーズを把握しながら新規展開に取り組む。							

施策2 湯前ならではの特色ある教育の展開

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①小中一貫教育に対する保護者の満足度	—	73%					75%	97.3%
取組の評価	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止や縮小しての行事開催がほとんどであったため、実際にできた行事は合同避難訓練のみであった。児童生徒が交流できる機会が少なかったため、保護者からの評価も目標値を下回る結果になったと思われる。							
今後の方針	今後も小中一貫教育を推進していくため、小・中学校の連携をさらに深め、コロナ禍の厳しい状況ではあるが前向きにできる限りのことを実施していきたい。							
②地域学校協働活動参加人数	—	195人					600人	32.5%
取組の評価	令和2年度はコロナウイルス影響により学校行事の縮小制限があり、地域学校共同活動も縮小となった。そのような状況下でもコロナ対策を行った上で実施可能な活動は積極的に実施している。							
今後の方針	引き続き地域学校協働活動は推進することとしているが、ICT機器の活用等も含め、コロナ禍等でも積極的に活動が行えるよう工夫をしていく。							

・基本目標 3 に対する意見

策定審議会意見

- ・現状ある空き家の大半は手を入れないと住めない。若い世代は所得が高くないので、子育て世代に向けた住宅施策が必要だと思う。
- ・文化財を知ろうと小学 1 年生から 6 年生の親子が城泉寺に見学にこられた。各文化財の地元の取り組みの場を設けてもらえてよかった。一方で、70 才を過ぎても城泉寺を知らない町民の方もいる。子どものうちに教えていくことが必要で、学校教育に取り入れてもらうことも大切である。
- ・小中一貫教育など本町独自の取り組みを磨き上げ魅力として発信し、移住者の増加につなげていてもらいたい。

議会意見

- ・「子育て世帯数」が減少している現状を踏まえ、今後の方針において新規展開を具体的に示すとともに、若い世代が安心して結婚・出産・子育てできるよう、子育て環境の整備に継続的に取り組まれたい。
- ・「出会いの場への参加者数」の今後の方針で、実績ゼロの対応に「リモートでのイベント開催を検討していく」とあるが、行政事務の中で対応できるのが疑問である。「民間企業を活用した出会いの場の創出事業」と「結婚チャレンジ支援事業」の方針を具体的に示されたい

・総合戦略検証結果全体に対する議会意見

議会意見

- ・K P I の達成状況については、コロナ禍及び令和 2 年 7 月豪雨の災害対応による影響があるものを除き、ホームページ閲覧者数をはじめ認定農業者数など、一部は達成できているものもあり、地域の活性化に効果的な取組であったと評価できる。
- ・今回の取組の検証を行った上で、各関係部署において継続的なフォローアップを行われたい。
- ・国の支援策の積極的な活用により、戦略的に取り組まれたい。
- ・P D C A サイクルを計画に落とし込むとともに、計画的に実践されたい。